

法学部A方式Ⅱ日程・国際文化学部A方式  
キャリアデザイン学部A方式

## 3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～21	日 本 史	22～37
世 界 史	38～54	地 理	56～64
数 学	66～71		

## 〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

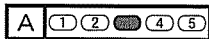
## マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

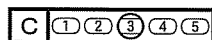
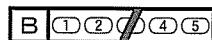
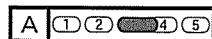
## 記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



} 枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

# (世界史)

〔I〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

1644年、清が山海関を越えて明の領内に侵入し、北京を占領すると、華中・華南地域を中心に、明の皇族や遺臣たちによる反清活動がくり広げられた。彼らは異民族である満州族の支配に強い反感を抱き、必死の抵抗をつづけたのである。一方で、これら抵抗勢力の平定に貢献したのは、清に投降した漢人武将であった。彼らはその功績によって藩王に封じられ、南方の支配権を認められた。やがて藩王の存在は清を悩ませることになるものの、清はこのような漢人をもって漢人を制する方針を取りながら明の支配した領域の平定を進めていった。

清は異民族王朝でもあり漢族・満州族・蒙古族等が共存する多民族国家でもあった。そのため統治体制においては各民族の反発を抑えるべく、それぞれの文化を継承発展させる姿勢を示し、旧来の秩序の回復と維持につとめながら、独自の制度や政策を整えていった。

文化の継承発展による漢族への懐柔策の具体例を挙げれば、漢人学者を優遇するために、彼らに全国から古今の書物を収集させ、帝はの編纂を命じ、帝はの編纂を命じるなどした。この一連の図書編纂事業は、反満・反清的な内容を取り締まるという、思想統制を目的とする側面もあったが、文化の継承という面において果たした役割は大きかったと言える。とくに約八万卷からなるは、正本と副本が作成され、紫禁城の文淵閣をはじめ全国七か所の閣(専用の書庫)に分置され、漢族の伝統文化の継承発展に大きく寄与した。

一方、反満・反清的思想を含むと判断された書物に対しては禁書の措置がとられた。帝の頃はとくに厳しく、の基礎を築いた黄宗羲の『明夷待訪録』といった、明の遺臣として清王朝を批判した学者の著作だけでなく、小説や戯曲といった文芸作品までも、風俗を乱す等の理由から取り締まりを受けた。中国小説史上の代表作とされる、貴族社会の栄華と没落と男女の交情を描いたも、一時その対象となった。

ただし、清王朝が厳しい思想統制を行いながら編纂事業等で学問を奨励した背景に、皇帝自身が学問をたいへん好み重視していたという事実があることも看過してはならない。彼らは宮廷に漢人学者を招いて四書五経を学び、詩文や書画をたしなみ、さらに布教目的で滞在していた宣教師から西洋の学問を学ぶことにも熱心であった。しかし  帝の時に典札問題が起こると、やがてキリスト教の布教は全面禁止となり、宣教師も国外追放となったが、宮廷奉仕のために残された一部の宣教師は、引き続き西洋の科学技術や知識の伝授につとめた。画技に長じたカステリオーネは宮廷画家として  帝以下の三人の皇帝に仕え、  の設計にも参加した。

漢族の文化を継承発展させながら、独自の統治体制によって繁栄を極めた清朝も、19世紀に入ると、くり返される戦争によって列強の侵略を許すことになり、没落の道をたどっていく。

帝の時代に外国貿易を廣州一港に限定する等の厳しい制限を設けて以降、貿易の自由化を求める諸外国からの圧力は次第に激化し、ついにアヘン戦争が勃発した。<sup>(3)</sup> また、第二次アヘン戦争といわれるアロー戦争<sup>(4)</sup>では、戦後の条約批准をめぐる戦闘が再開し、首都の北京は英仏連合軍に占領され、 も徹底的に破壊された。その際、 の文源閣に所蔵されていた  が焼失したほか、前後する戦乱によって揚州の文匯閣、鎮江の文宗閣、杭州の文瀾閣の蔵書も焼失あるいは散逸し、歴代皇帝が力を入れた大事業は甚大な被害を受けた。

アロー戦争以来、国内では軍事を中心に近代化をはかる洋務運動<sup>(5)</sup>がすすめられたが、つづく日清戦争において清軍は敗北を喫してしまった。その戦後処理で列強による領土分割がすすむ中、 帝は急進的な政治改革を訴える変法派<sup>(6)</sup>を登用し、改革を実行に移すも、百日余りで保守派のクーデタにあい失敗に終わった。<sup>(c)</sup>

また、締結された一連の不平等条約によって、外国人の内地旅行の自由やキリスト教布教の自由が認められたことにより、各地には外国人が入り込み、宣教師による積極的な布教活動も展開された。影響力を強めるキリスト教徒と、彼らを伝統的な秩序を乱す存在とみなして反発する地方官や地元住民との間で摩擦が生

## 世界史

じ、キリスト教会や同教徒を襲撃する事件が頻発するようになった。各地で起きた反キリスト教を掲げる排外的な  運動は、帝国主義列強の侵略に対する抵抗や西洋の文明への拒絶感を増していき、義和団事件となって頂点に達した。しかし、結果として列強による干渉を深め、<sup>(7)</sup>植民地化の流れを強めるだけであった。

その間、清朝の皇帝制度を維持しながら政治改革を訴える保皇派に対し、孫文<sup>(d)</sup>を中心に、清朝を打倒して漢民族の主権回復を訴える革命派が次第に活動を活性化させていた。彼らの革命運動は、各地で蜂起と失敗を繰り返しながら、1911年10月の辛亥革命の発端となる武昌での蜂起に結実していくのである。

問1 空欄  ～  に入る語を、1～17のうちから一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- |         |          |          |
|---------|----------|----------|
| 1 仇教    | 2 金瓶梅    | 3 公羊学    |
| 4 考証学   | 5 紅樓夢    | 6 古今圖書集成 |
| 7 康熙字典  | 8 四庫全書   | 9 四書大全   |
| 10 邪教   | 11 大清一統志 | 12 太平天国  |
| 13 知行合一 | 14 白蓮教徒  | 15 反清復明  |
| 16 聊齋志異 | 17 陽明学   |          |

問2 空欄  ～  に入る語の組み合わせとして正しいものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |      |      |
|--------|------|------|
| ア あ 雍正 | い 康熙 | う 同治 |
| イ あ 康熙 | い 乾隆 | う 光緒 |
| ウ あ 雍正 | い 嘉慶 | う 光緒 |
| エ あ 康熙 | い 道光 | う 同治 |

問3 下線部(1)に関連する記述として正しいものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 雲南・広東・福建の三藩廃止の決定に抵抗する三藩の乱がおきたが、雍正帝によって鎮圧された。
- イ 山海関を開いて清のドルゴン軍を手引きした呉三桂は、福建の藩王として中国南部で勢力をもった。
- ウ 広東の藩王尚可喜の勢力を鎮圧するため、順治帝は遷海令によって沿岸部の住民を内陸部に移させた。
- エ 台湾を根拠地としていた鄭氏一族は三藩の乱と連携することもあったが、三藩の乱の鎮圧から数年で清に帰順した。

問4 下線部(2)に関連して、清の制度や政策に関する記述として間違っているものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 安定的な税収を確保するため、土地税のなかに人頭税を取り込んで一本化して銀納させる地丁銀制を採用した。
- イ モンゴル・青海・チベット・新疆といった非漢人が優勢な地方の自治権は、中央機関である藩部の監督下で認めた。
- ウ 明軍を再編して組織された緑営は、漢人を主体とする正規軍であり、主に治安維持につとめ、八旗を補う役割を担った。
- エ 前身は軍事の機密保持を目的に創設された機関であったが、軍機処は内閣の職権も吸収し、実質的な政策決定機関となった。

## 世界史

問5 下線部(3)に関連する記述として正しいものを、ア～エのうちから一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- ア 虎門寨追加条約の締結により、広州・福建・厦門・寧波・上海の五港の開港や片務的な最恵国待遇が認められた。
- イ 貿易関係改善を求めるイギリスから派遣されたマカートニーは、三跪九叩頭の礼を拒否して皇帝に謁見できず、交渉は失敗に終わった。
- ウ 欽差大臣としてアヘン取り締まりを断行した林則徐は、海外の情報収集の重要性を訴え、その影響を受けて魏源は世界地誌『海国図志』を編纂した。
- エ 様々な特権が認められた外国人居留地である租界は、イギリスが香港に設けたのが始まりであり、その後、多くの開港都市に設けられることになった。

問6 下線部(4)に関連して、アロー戦争と同じ頃、清は太平天国の乱にも苦しめられていたが、上帝会が最初に挙兵した金田村の所在地(現在の行政区分による)として正しいものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 広東省
- イ 広西壮族自治区
- ウ 湖南省
- エ 福建省

問7 下線部(5)に関連する記述として間違っているものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 近代的な新式海軍である北洋艦隊が編成されたが、日清戦争において日本海軍に大敗北を喫した。
- イ 福州に中国最初の近代的造船所を設立した左宗棠は、陝甘総督としてイスラーム教徒の反乱を鎮圧した。
- ウ 洋務運動は太平天国の乱鎮圧に活躍した淮軍の李鴻章、湘軍の曾國藩といった漢人官僚を中心に進められた。
- エ 「中体西用」の立場で西洋の科学技術を導入したほか、政治体制の改革も目指したが大きな進展はなかった。

問8 下線部(6)に関連して、日清戦争後のイギリスの租借地として正しいものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 膠州湾                      イ 広州湾                      ウ 威海衛                      エ 香港島

問9 下線部(7)に関する記述として正しいものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 義和団事件の鎮圧後、出兵した八か国およびスペイン・ベルギー・オーストリアと清との間で講和条約が締結された。

イ 義和団は、袁世凱の率いる八旗を中心とした軍隊に勝利したが、のちに北京に出兵した八か国連合軍によって制圧された。

ウ 宗教的色彩の強い結社を母体とする義和団は、「扶清滅洋」を掲げ、農民や下層労働者を中心に華北一帯で勢力を拡大した。

エ 義和団による攻撃を受けた公使館の館員の救出を目的に、日本・ロシアを中心とした八か国連合軍が出兵すると、清朝は列国に宣戦した。

問10 空欄  に入る語を、解答欄に記入せよ。

問11 下線部(b)に関連して、アロー戦争後、北京駐在の外国公使との対等の交渉に当たる中央組織として設置された外交を管轄する官庁は何か。その名称を解答欄に記入せよ。

問12 下線部(c)に関連して、雑誌『時務報』の主筆として自身の政治主張を展開し、保守派のクーデタで日本に亡命した変法派の人物は誰か。その名前を解答欄に記入せよ。

問13 下線部(d)に関連して、孫文はハワイで経済的成功を収めた兄を頼って、1894年にハワイで革命団体を結成した。孫文の兄のように、海外に移住した中国人のことを何と呼ぶか。その名称を解答欄に記入せよ。

## 世界史

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

トルコにおける近代国家・国民国家の建設を志向したムスタファ＝ケマルがトルコ語の表記をアラビア文字からローマ文字に改めたことは広く知られているが、彼はまたアラビア語とペルシア語に由来する外来の語彙をトルコ語固有の語彙や新造の語彙に改めている。これはトルコ語・アラビア語・ペルシア語という三言語<sup>(1)</sup>の関係の複雑さ、いわゆる「イスラーム世界」の多様さを象徴する事象として注目される。

ムハンマド以来、イスラームの拡大はアラブ人の征服により進められた。それとともに各地に支配者の言語であるアラビア語が浸透し、エジプト・シリア・イラクなどの地域はアラビア語化することとなった。イスラームの拡大はイラン方面、マー・ワラー・アンナフル(中央アジアのアム川・シル川にはさまれた地)にまで及んだが、これらの地域でもアラビア語は書き言葉として広く用いられるようになった。

イスラームの拡大は各地で改宗者を増やすこととなったが、非アラブ人ムスリム<sup>(a)</sup>の増加にしたがいアラブ人ムスリムとの間の不平等が問題となっていった。8世紀半ばのアッバース朝革命の背景にはこの非アラブ人ムスリムの不満があったが、革命の出発地であったホラーサーン(イラン北東部からアフガニスタン・トルクメニスタンにかけての地)では、アッバース朝建国に貢献したイラン系ムスリムの一族が9世紀前半にターヒル朝<sup>(2)</sup>を興すことになる。これは最初のイラン系の独立したイスラーム王朝と言われるが、まだ地方君主としてアッバース朝のカリフに従属する立場にあった。<sup>(b)</sup>9世紀後半、ターヒル朝はサッフアール朝に滅ぼされるが、同じ頃、マー・ワラー・アンナフルにイラン系のサーマーン朝が誕生した。

近世ペルシア語といわれるものは、アラビア文字で表記することとアラビア語の語彙を多く含むことに特徴があるが、それはこの9世紀にはすでに確立していたと考えられている。10世紀になると、サーマーン朝を中心にペルシア語による文芸活動が一気に花開いていく。散文においては歴史書『預言者・王侯の歴史』<sup>(3)</sup>(『諸預言者と諸王の歴史』)の翻訳等が知られるが、とくに盛んだったのは韻文であり、ルーダキーやダキーキーといった詩人が大いに活躍した。10世紀末にはペ



ルシア文学の最高傑作とも言われる叙事詩『シャー＝ナーメ』(『王の書』)<sup>(c)</sup>が作られたが、その完成時にはすでにサーマーン朝は滅んでおり、<sup>(4)</sup>続くガズナ(ガズニ)朝<sup>(5)</sup>の君主に献上されることになった。

ガズナ朝はトルコ系王朝であったが、トルコ人はもともと北アジアを原住地としていた。9世紀半ばにその中心を中央アジアに移すと、彼らはイスラームに改宗していき、時に奴隷<sup>(6)</sup>としてイスラーム世界において様々な活躍をすることになった。トルコ人が建てたガズナ朝はホラーサーンや西北インドまで支配するようになったが、11世紀にホラーサーンにセルジューク朝が建国されると、トルコ人はより主体的に西方を目指すようになった。<sup>(d)</sup>セルジューク朝はニザーム＝アルムルクが宰相だった時代に、<sup>(7)</sup>マラーズギルド(マンジケルト)の戦いで勝利を収めるなど最盛期を迎え、<sup>(8)</sup>やがてマー・ワラー・アンナフルからシリア、アナトリアに至る大帝国を建設した。

これらトルコ人の優位性は軍事力によるものに過ぎず、トルコ人本位の支配では政治的安定は望めなかった。もともとイランにはアケメネス朝・ササン朝以来の長い中央集権国家の歴史とそこから生み出された高度な統治技術があり、征服当初からアラブ人支配者はこれを積極的に学び、ペルシア人官僚を積極的に登用していた。イラン系のサーマーン朝は言うまでも無く、それに続くトルコ系のガズナ朝、セルジューク朝でもペルシア人官僚が政治の中心となっていた。近世ペルシア語の使用はこのペルシア人官僚の間でも次第に一般化していき、徐々にアラビア語に代わって行政用の言語としての地位を確立していくことになり、セルジューク朝ではペルシア語が宮廷の公用語とされるに至った。ただし『クルアーン』をはじめとして、宗教書やイスラーム法に関する文献はアラビア語で記されており、アラビア語は宗教・法<sup>(e)</sup>の言葉、ペルシア語は行政・文学の言葉と使い分けられるようになった。

セルジューク朝がアナトリアまでその版図を広げ、トルコ人の移入を促進させたことで、アラブ・ペルシア・トルコから成る多様性がアナトリアまで広がることとなった。<sup>(9)</sup>1141年に中央アジアで東方から来た勢力に大敗を喫したのを契機に帝国としてのセルジューク朝は斜陽に向かい、<sup>(10)</sup>ルーム＝セルジューク朝などの地方政権に分かれていったが、それ以後もペルシア語は各地で用いられ、近現代まで大きな影響を残すこととなった。

## 世界史

問1 下線部(1)に関連して、以下の問いに答えよ。

- ① 言語学上、トルコ語が属する分類として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア アルタイ諸語(語族)                      イ インド=ヨーロッパ語族  
ウ ウラル語族                                  エ セム語族  
オ ハム語族

- ② 言語学上、アラビア語が属する分類として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア アルタイ諸語(語族)                      イ インド=ヨーロッパ語族  
ウ ウラル語族                                  エ セム語族  
オ ハム語族

- ③ 言語学上、ペルシア語が属する分類として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア アルタイ諸語(語族)                      イ インド=ヨーロッパ語族  
ウ ウラル語族                                  エ セム語族  
オ ハム語族

問2 下線部(2)に関連して、ターヒル朝の首都となった都市は、1038年にセルジューク朝がホラーサーンに勢力を確立した際に占領したことで知られているが、この都市として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア イスファハン                      イ タブリーズ                      ウ テヘラン  
エ ニーシャープール                      オ ブハラ

問3 下線部(3)に関連して、この歴史書の著者として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア イドリーシー                      イ ガザーリー                      ウ ジャーヒズ  
エ タバリー                                  オ フワーリズミー

問4 下線部(4)に関連して、サーマーン朝を滅ぼした王朝として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア カラ＝ハン朝                      イ ゴール朝                      ウ トゥールーン朝  
エ ブワイフ朝                      オ ホラズム＝シャー朝

問5 下線部(5)に関連して、ガズナ(ガズニ)朝の最盛期をもたらした第3代君主として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア アルプテギン                      イ ウルグ＝ベク                      ウ シャー＝ルフ  
エ バイバルス                      オ マフムード

問6 下線部(6)に関連して、以下のア～エの王朝のうち、トルコ系の奴隷(マムルーク)であった人物によって始められた王朝はいくつあるか。その合計数を解答欄にマークせよ。

- ア アイユブ朝    イ ガズナ(ガズニ)朝  
ウ 奴隷王朝    エ ブワイフ朝

問7 下線部(7)に関連して、以下のア～エの記述のうち、ニザーム＝アルムルクに関する記述として正しいものはいくつあるか。その合計数を解答欄にマークせよ。

- ア ニザーム＝アルムルクは領内の主要都市にニザーミーヤ学院を設立した。  
イ ニザーム＝アルムルクは宰相として第3代スルタンのマリク＝シャーに仕えた。  
ウ ニザーム＝アルムルクは行政・軍事組織の整備を進め、イクター制を創始した。  
エ ニザーム＝アルムルクの宰相在任時に、ウマル＝ハイヤームらがジャラリー暦を作成した。

## 世界史

問8 下線部(8)に関連して、マラーズギルド(マンジケルト)の戦いでセルジューク朝が破った相手として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア アイユーブ朝                      イ 十字軍                      ウ ビザンツ帝国  
エ ファーティマ朝                      オ マムルーク朝

問9 下線部(9)に関連して、この東方から来た勢力を率いた民族として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ウイグル                      イ ウズベク                      ウ 契丹  
エ 突厥                      オ モンゴル

問10 下線部(10)に関連して、ルーム＝セルジューク朝の首都として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア アンカラ                      イ アンティオキア                      ウ コンヤ(コニヤ)  
エ バスラ                      オ ペルガモン

問11 下線部(a)に関連して、非アラブ人ムスリムの問題はウマイヤ朝末期に極めて深刻なものとなったが、彼ら非アラブ人ムスリムのことをアラビア語で総称として何と呼ぶか。その名称を解答欄に記入せよ。

問12 下線部(b)に関連して、初期イスラーム時代は遠征軍の司令官の称号で、のちに地方総督や地方君主の称号となり、ターヒル朝やサーマーン朝の君主も称した称号は何か。その名称を解答欄に記入せよ。

問13 下線部(c)に関連して、『シャー＝ナーメ』(『王の書』)の著者は誰か。その名前を解答欄に記入せよ。

問14 下線部(d)に関連して、セルジューク朝を建国し、初代スルタンとなったのは誰か。その名前を解答欄に記入せよ。

問15 下線部(e)に関連して、イスラーム法のことをアラビア語で何と呼ぶか。その名称を解答欄に記入せよ。

## 世界史

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

アレックス＝ヘイリーの『ルーツ(Roots)』(1976年)は、奴隷としてアフリカ<sup>(a)</sup>からアメリカに連れてこられたクンタ＝キンテとその家族の歴史を描いた、ヘイリー自身のルーツをたどる自伝的な小説である。この小説の最初の舞台となるのは、現在のガンビア共和国のジュフレという村である。ジュフレはガンビア川にほど近い村で、マンディンカ(マンディング)<sup>(1)</sup>人が多く居住していた。クンタ＝キンテは1750年頃にこのジュフレで生まれた。一説によると、クンタ＝キンテの一族はジュラと呼ばれる遠隔地貿易に従事してきた商人の家系であったとも言われている。当時のジュフレは、マンディンカ語だけでなく、ウォロフ語やフルベ語やセレール語なども飛び交う交易が盛んな場所であったという。

その住民の大半はムスリム<sup>(2)</sup>であったが、16世紀の初めにはキリスト教の教会も存在した。この教会はガンビア川流域に進出したヨーロッパ勢力によって建てられたものであったが、ヨーロッパ勢力のこの地域への進出としては、まず15世紀末にポルトガルがジュフレ近くのサン＝ドミンゴに交易拠点を建設している。その後はフランスやイギリスが金や象牙、奴隷を求めて進出し、17世紀にはフランスがジュフレに隣接するアルブレタに交易拠点を築き、イギリスもジュフレに交易所を建設している。またイギリスはジュフレの対岸のジェームズ島(現在のクンタ＝キンテ島)に要塞を築き、奴隷貿易<sup>(3)</sup>の拠点としていた。

イギリスがガンビア川流域で本格的に奴隷貿易を展開し始めたのは、王政復古後のことであった。1672年に設立された王立アフリカ会社は、金や象牙の取引だけでなく奴隷貿易の独占も図った。なかでも奴隷貿易は急速に拡大し、約30年間で10万人もの人々を奴隷としてアメリカ大陸やカリブ海諸島に送った。その背景にあったのが、カリブ海諸島でのサトウキビ栽培の興隆であった。そもそも17世紀初頭までの主力作物はタバコと綿花<sup>(4)</sup>であった。しかし、植民地で生産されたタバコがヨーロッパ市場に溢れ、タバコ価格が暴落すると、価格の高い砂糖に注目が集まっていった。当時、砂糖の価格が高かったのには理由があった。タバコ栽培などに比べ、サトウキビ栽培はより多くの労働力を必要としたのである。バルバドスやジャマイカでサトウキビ栽培が急速に拡大し、それに伴い労働力需要が増大すると、奴隷貿易も拡大していった。18世紀に入ると、スペイン継承戦争の

終結のために締結されたユトレヒト条約で、イギリスはスペイン植民地への黒人奴隷供給契約を獲得し、奴隷貿易の占有をさらに進めていった。

話をガンビアのジュフレに戻そう。環大西洋奴隷貿易の輸送網をイギリスが占有的に掌握した頃、15歳となったクンタ＝キンテは成人の儀式を終え、一人前のマンディンカ人として生活するようになっていた。しかしある日、森で太鼓を作る木を探していたところ、奴隷商人の手下に捕らえられ、奴隷船ロード＝リゴニア号に積み込まれてしまう。長い船旅の後、1767年7月5日に北アメリカのイギリスの植民地であったメリーランドに到着した。クンタ＝キンテはアナポリスの奴隷市で競売にかけられ、ヴァージニアの大農園に売られていった。

クンタ＝キンテが奴隷として連れてこられた頃の北アメリカは、英仏間の勢力<sup>(5)</sup>争いが収束し、イギリスが支配権を確立した時期であった。イギリスは、植民地から「有益なる怠慢」と呼ばれた緩やかな規制を廃止し、課税や密貿易の取り締まりを強化していくようになる。しかし、こうした植民地政策の転換は反発を招いていく。13植民地のなかでもイギリスからの独立を支持する勢力が強かったのが、<sup>(e)</sup>マサチューセッツとヴァージニアであった。ヴァージニアはタバコ栽培での収益が減少していたことから、イギリスからの独立によるタバコの輸出自由化を望む声が強かった。それと同時に、13植民地のなかで最大の植民地であったヴァージニアの植民地エリート層<sup>(6)</sup>は、「自分たちこそがイギリスに対する抵抗運動で指導的役割を果たすべきだ」という強い自負を持っていた。こうしたなか、ヴァージニアのイギリス総督がイギリス側に協力する黒人奴隷には自由を与えると布告したことで、反イギリス感情は一気に高揚した。このイギリス総督による奴隷解放<sup>(d)</sup>の布告が、ヴァージニアの大農園にいたクンタ＝キンテの耳に届いたかどうかは定かではないが、この布告を機に独立の気運が高まったのは皮肉なことである。

1776年の独立宣言では「すべての人は平等に造られている」と謳われたが、独立革命後もクンタ＝キンテのような奴隷を動産として扱う奴隷制は続いていった。クンタ＝キンテは転売された先で出会ったベルと結婚し、キジーという娘をもうける。しかし、故郷であるジュフレの土を踏むことは二度となく、1822年にアメリカ合衆国でその生涯を閉じた。

## 世界史

問1 下線部(1)に関連して、13世紀にマンデインカ(マンディング)人により建国された国として正しいものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ガーナ王国

イ ソンガイ王国

ウ マリ王国

エ モノモタパ王国

問2 下線部(2)に関連して、遠隔地貿易に携わった交易商人について述べた以下のア～エの文のうち、ムスリム商人に関する内容ではないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ダウ船を用いてインド洋交易において活躍した。

イ カーリミー商人は、紅海経由の香辛料貿易などで活躍した。

ウ 泉州などの商業都市で交易を行い、大食(タージー)とも呼ばれた。

エ 北アジアのウイグルと唐との間の絹馬交易の仲介役として活躍した。

問3 下線部(3)に関連する記述として間違っているものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア イギリスの三角貿易の拠点であったリヴァプールは、奴隷貿易で繁栄した。

イ ガーナ内陸部にあったアシャンティ王国は、ヨーロッパ人との奴隷貿易で繁栄した。

ウ 奴隷貿易の中心地の一つであったコンゴ王国は、奴隷貿易が一因となって衰退した。

エ グラッドストーンらの努力によって、イギリスで奴隷貿易禁止法が1807年に成立した。



問4 下線部(4)に関連して、以下の文章の空欄 ① ~ ③ に入る語を、a~fのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

イギリス商人によってタバコがもたらされた ① 帝国では、アフメト1世やムラト4世などが喫煙を禁止した。 ② 帝国では、アクバル帝の後を継いだ第4代皇帝シャハーンギールが喫煙を禁止した。また、ムラト4世治下の ① 帝国からイラク南部を奪還した ③ 朝のアッバース1世も喫煙を禁止した。

語群

- |        |         |         |
|--------|---------|---------|
| a オスマン | b サファビー | c ティムール |
| d ビザンツ | e ムガル   | f ロディー  |

問5 下線部(5)に関連して、七年戦争と同じ時期に、ヨーロッパの外で起こった英仏間の勢力争いについて述べた以下のア~エの文のうち、正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 北アメリカではアン女王戦争が起きた。
- イ 北アメリカではウィリアム王戦争が起きた。
- ウ インドでは第一次カーナティック戦争が起きた。
- エ インドではブラッシーの戦いや第三次カーナティック戦争が起きた。

問6 下線部(6)に関連して、ヴァージニア植民地出身者について述べた以下のア~エの文のうち、正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア フレンチ=インディアン戦争に従軍したワシントンは、初代大統領となった。
- イ パトリック=ヘンリは、『コモン=センス』を著し、独立をためらう植民地の人々の心を動かした。
- ウ 第2代大統領となったトマス=ジェファソンは、アメリカ独立戦争中にフランスに駐在し、フランスの援助を得ることに成功した。
- エ 第5代大統領となったモンローは、学業を中断して独立戦争に参加し、大統領就任後はラテンアメリカ諸国と友好関係を深めるためにパナマ会議を主催した。

## 世界史

問7 下線部(a)に関連して、以下の問いに答えよ。

① アフリカを流れる河川のうち長さが3番目に長く、その流域に西アフリカにおける経済・文化の中心地であったトンブクトゥがあった河川は何か。その名称を解答欄に記入せよ。

② アラビア語で「黒人の地」を意味し、北アフリカのアラブ人が南の黒人居住地域を大西洋岸から紅海沿岸まで広くまとめて呼んだ名称は何か。その名称を解答欄に記述せよ。

問8 下線部(b)に関連して、17世紀後半からイギリスに輸入されるようになったインド産の綿布は何と呼ばれたか。その名称を解答欄に記入せよ。

問9 下線部(c)に関連して、ボストン茶会事件後のイギリス本国による弾圧的な諸法の制定に対抗し、アメリカ植民地の抵抗を組織的に遂行するために、13植民地の代表により構成された組織で、独立戦争期にはアメリカ連合規約の発効まで中央政府的な役割を果たした組織は何か。その名称を解答欄に記入せよ。

問10 下線部(d)に関連して、奴隷解放の是非は南部と北部の対立の主要な争点の一つとなっていたが、別の大きな争点であった貿易政策において、とくに北部の産業資本家がイギリスの工業製品との競争のために要望した政策は何か。その名称を解答欄に記入せよ。

(白 紙)